〔長久手町業務評価票：平成 20 年度業務〕

担当課・係名	保健医療課　医療係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）　125　】
第４次総合計画の該当項目	3節5項　子育て支援の充実

業務の名称	子ども医療費事業			
(1)根拠法令・条例	長久手町子ども医療費支給条例			
(2)当該業務量（延人員規模含む）	総業務量の 22.5 %（係の総業務量を１００%とする） 職員延人数：55 人・日　（臨時雇用者延人数：230 人・日）			
(3)事業費（人件費分を除く）	228,319 千円（平成20年度決算（細目・細々目の実績から抽出・算定する）			
(4)補助率（補助金がある場合のみ記載）	32.3 %（平成20年度実績）			
(5)業務期間	開始した年度	16　年度	終了（予定）年度	年度

(6)業務の概要（簡潔に箇条書きで記載）

① 業務目的（達成目標）	子どもを抱える家庭の医療費の負担を軽減し、子どもの健康や福祉の増進を図ること。
②業務が対象とする住民（地域、層）	小学生までの保護者（子ども医療費受給者証あり）及び中学生の保護者（受給者証なし）
③業務の具体的な実施内容・方法（平成20年度実績）	小学生までの診療医療機関での通院・入院医療費の自己負担分を助成する(現物支給)。 中学生の診療医療機関での入院医療費の自己負担分を助成する。(償還払い)
④業務の実施結果（平成20年度実績）	

【業務結果の説明指標】

	結果の説明指標	17年度	18年度	19年度	20年度実績	将来目標
1	受給者数	3,377	3,635	4,035	7,082	
2	医療費	136427	150997	168675	228319	
3						
4						
5						

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

保険証が変更になった場合、医療証の交付時には、説明を行っているが、未届けの受給者がある。

(8)改善実績（過去４年間の実績）
平成20年１月１日より、就学前までの乳幼児の入通院から拡大した。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	三段階評価（２～０点）
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2　点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2　点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2　点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2　点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	2　点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2　点
２点：成果あり、適切だった　１点：ある程度適切だった　０点：適切でなかった、遅れている		平均　2　.0　点

(10)総合評価（課の見解）	
①今後の方向 （該当番号に○印）	①．前年度と同じく、そのまま継続する。 ２．見直して継続（業務の拡大） ３．見直して継続（業務の縮小） ４．見直して継続（方法の改善） ５．見直して継続（他業務と統合） ６．廃止する。 ７．休止する。
②評価理由	所得制限もなく、また一部負担もなく、他市町村から転入してきた住民からは好評である。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）	
①　改善目標	今後も引き続き、住民への啓発に努めていく。
②改善時期	随時。
③改善方法	窓口にて説明。